



この機関紙は、共同募金の
配分金によって発行しています。

岡山県

おかやまけんしゃかいふくし

社会福祉

2018

2

No.627



～ハートに灯をつけて～ 災害ボランティアセンター運営者研修in岡山



特集 社会福祉法人の「オール岡山」による地域公益活動の推進!
『岡山県地域公益活動推進センター』の設立に向けて

現場からの発信

社会福祉法人 新生寿会
きのこ老人保健施設

赤い羽根共同募金

県社協ニュース

「認知症の理解を広める」
～施設の専門性を活かして～

「ふくし」の仕事人たち

SELP商品のご紹介



社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
URL: <http://www.fukushiokayama.or.jp>
Facebook: <https://facebook.com/fukushiokayama/>



特集



社会福祉法人の「オール岡山」による地域公益活動の推進！

『岡山県地域公益活動推進センター』の設立に向けて

平成28年の社会福祉法改正により、「地域における公益的な取組」が社会福祉法人の責務（同法第24条第2項）として明記されました。この法改正を受けて、社会福祉法人による「制度だけでは十分に対応できない課題」に対する多様な地域公益活動が全国各地で展開されています。本県においてもそうした社会福祉法人による取組のより一層の促進に向けて「岡山県地域公益活動推進センター」の設立準備（3月設立予定）が進められています。

そこで今月号では、岡山県地域公益活動推進センターの設立趣旨や主な取組内容等について特集いたします。

わたしたち **社会福祉法人** は、
分野や立場を越えてつながり、
オール岡山 で、制度の狭間の問題への
対応や地域貢献に取り組みます！

● 設立に向けたこれまでの経緯
— 基本構想の提案から合意形成まで —

● 「岡山県地域公益活動推進研究会」の取組

平成28年8月、本会と県社会福

祉法人経営者協議会により、「岡山

県地域公益活動推進研究会」を発

足し、「オール岡山」による地域

公益活動の推進のためのプラット

ホームとして「地域公益活動推進

センター」（以下「公益センタ

ー」）の必要性と設立に向けた構

想をとりまとめました。

● 各種別協、市町村社協等への周知説明と合意形成

平成29年度には、同センター構想（基本理念・設立趣旨、組織構成・事業方針、財源確保等）について、さうに具体的な方針検討を

図り、県内の各種別協議会や市町村社協への周知説明や意見交換を行ななかで、昨年11月及び今年1月の合同会議において、公益センターの設立に向けた基本合意になりました。

なぜ公益センターが必要なの？ — 設立の趣旨的とは —

今日、制度の狭間の問題解決に積極的に取り組むことが、「地域における公益的な取組」の責務として、社会福祉法人に求められています。

しかし、本研究会が平成28年12月に実施した県内の地域公益活動



各種別協、市町村社協への事業説明会の様子(H29.8月)

岡山県の地域公益的取組の現状

「地域における公益的な取組」アンケート調査(H28.12月実施)／岡山県地域公益活動研究会

- ▶ 「している」 16. 6%
- ▶ 「しているが、不明」 32. 9%

問題 取組少ない／理解不足／「見える化」出来ない

回答 このまま、何もしなければ...
社会福祉法人の存在意義が問われる

1法人だけの問題でなく
県内法人全体の問題

オール岡山で
取組促進・見える化
を進める必要性がある！

公益センターの機能

- ① 県内全域での連携体制づくり
- ② 市町村域の活動のサポート
- ③ モデル事業等の開発・展開
- ④ 研修・講座による人材育成
- ⑤ 情報発信・普及啓発(見える化)

センターの機能・ビジョンは? センター機能と取組の方針性

公益センターでは、県内全体（オール岡山）で制度の狭間の課題へ取り組むことを目指し、次の5つの機能を発揮します。

県域の社会福祉法人関係者が種別や分野を越えてつながり、「オール岡山」で地域公益活動を推進していく全体機運を高めるとともに、各市町村域で法人同士が連携して取り組めるような「市町村域ネットワーク」の立ち上げとその充実・強化を全面的に応援・支援していくための県域のプラットホームが必要であるとの結論に至りました。

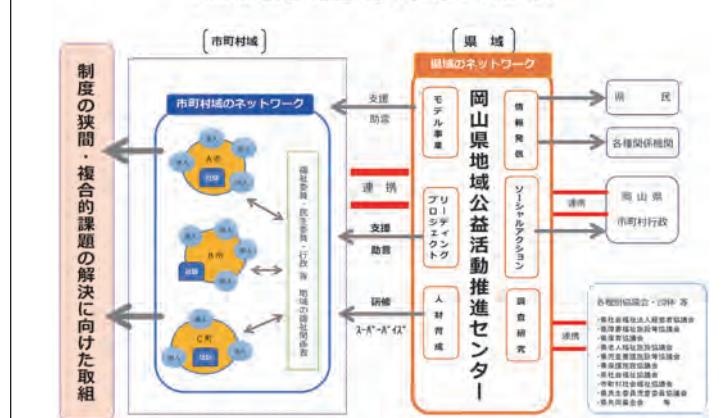
●5年間の中期計画

公益センターの取組期間は、当面5年間とし、平成30年から34年までの中期計画をもとに計画的

取組の方向性と「中期計画」

上記に述べた機能を発揮すべく、「気運（連携体制）づくり」「市町村域のネットづくり」「モデルづくり」「ひとづくり」「見える化」の主要5項目を取組の柱としています。

岡山県における地域公益活動 実施展開図（イメージ）



地域公益活動推進センターの機能／展開フロー図

オール岡山での取組促進 中期事業計画 5年計画（H30～34）

事業展開の流れ

事業展開プロセス



オール岡山での取組促進 主要5つの事業 5年計画（H30～34）



事業展開を図ることにしています。
そこで、市町村域のネットワー
クの立ち上げ、活性化の支援を中
心に現場（担当者）の人材育成や
モデル的な取組の研究・開発の他、
県内全体の取組促進に向けた普及
啓発・情報発信を展開していきま
す。

【1】県域のネットワークづくり 公益センターは何をするの？ 主要事業の概要について

公益センターの運営

県内すべての社会福祉法人社会

福祉施設・事業所、市町村社協等
に「基礎団体会員」として加入し
ていただくことを目指し、立場や
分野を越えた県域のネットワーク
を構築することで、取組気運を高
めていきます。

【2】市町村域の社会福祉法人 ネットワークづくりのサポート

市町村ネットワークづくり

県内の福祉施設や社協等が連携
協働し、それぞれの強みを生かし
た取組が図られるよう、市町村域
での社会福祉法人等によるネット
ワークの組織化を応援するととも
に、取組の充実・強化に向けた助
言、経費助成等の支援を行います。

赤い羽根共同募金



平成29年度 NHK歳末たすけあい配分交付式

平成29年度NHK歳末たすけあい配分交付式を12月20日(水)、岡山駅西口のひかりの広場(リットシティビル内)にて開催し、配分が決定した17団体・6施設に対し、総額3,720,000円の配分決定通知書を交付しました。

あたたかい募金をお寄せいただいた方々をはじめ、ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



ありがとうメッセージ



なでしこ共同作業所

なでしこ共同作業所は、建物の構造上、夏場はとても暑くなり大変でしたが、この度、NHK歳末たすけあい配分金でスポットクーラーを整備することができました。

お陰様で厳しい夏を快適に乗り越えることができると思います。

歳末たすけあい募金にご協力くださった皆様に厚くお礼申し上げます。

井原市太陽の会作業所

この度、NHK歳末たすけあい配分金をいただき、クリーナーを購入させていただきました。

性能の良いクリーナーを整備することで作業環境を清潔に保つことができ、利用者様が快適な環境の中で活動することができます。

皆様の温かいお気持ちに感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

●各種看板・サイン・POP・展示装飾・デザイン●

広告美術 企画-製作

美術工房



公益社団法人 全日本広告連盟加盟 岡山広告協会会員

TEL 086-271-4410 (代)

FAX 086-271-4412

〒703-8251 岡山市中区竹田 17-13

“お車の共済の事なら！”

西日本自動車共済協同組合

お見積り、ご相談、無料で承りますので
お気軽にご連絡下さい！

岡山県支部 〒700-0927

岡山市北区西古松237-126 松本ビル3F

TEL 086-246-3355 FAX 086-246-3375



【本部】福岡市博多区東比恵2-15-25
TEL: 092-441-5901

NJ730.1603.0250.999999



地域生活定着支援センター中国四国ブロック 専門研修会開催（平成29年11月）

本会で岡山県から業務委託を受け設置している『地域生活定着支援センター』は、高齢又は障害により支援を必要とする方を、矯正施設出所後に福祉サービス等につなげたための支援を行っています。

矯正施設において、高齢者、知的障害者（疑いを含む）が多数受刑していることは知られるようになつきましたが、依然として出所後の支援の受け入れ先について、理解を広めていくことが求められます。また、平成28年12月に「再犯防止推進法」が施行されました。が、その中でも高齢・障害等の福祉的支援対策の推進があげられていました。高齢者が出所後2年以内に矯正施設に再び入所する割合は全世代で最も高く、また出所から再犯までの期間は極めて短くなっています。知的障害のある受刑者についても、全般的に再犯に至るまでの期間が短いことが明らかとなっています。一方で、本会の支援の実績では、再犯を繰り返していた高齢者・障害者が、福祉施設着いて暮らすことが出来るようになつたケースが多数あります。国

本会で岡山県から業務委託を受け設置している『地域生活定着支援センター』は、高齢又は障害により支援を必要とする方を、矯正施設出所後に福祉サービス等につなげたための支援を行っています。

民が安全・安心に暮らすことができる社会の実現の観点からも、矯正施設出所者への福祉的支援は重要な要素になってきています。

罪を犯した高齢者・障害者には、複合した問題を抱える人も多く、またいわゆる『制度の狭間』と言われるように、既存の制度では福祉的支援につながりにくい方もいます。こういった人を孤立させないために、矯正施設・保護観察所・福祉医療関係機関・地方公共団体など、多機関の連携を強化する必要があります。

このような背景をふまえ、今回、岡山県において標記の専門研修会を開催いたしました。司法・福祉における関連施策や法制度などが題と課題『『刑務所における高齢者・障害者への矯正教育』、『精神障害者の地域移行』などをテーマに講義をいただきました。内容について興味のある方は、資料等の提供が可能ですので、左記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】
岡山県地域生活定着支援センター
TEL 086-226-2840

平成29年度生活困窮者自立支援 関係機関連絡会 開催概要

【備前会場】

日程：平成29年12月22日（金）
会場：きらめきプラザ（岡山市）

【備中会場】

日程：平成30年1月12日（金）
会場：備中県民局（倉敷市）

【美作会場】

日程：平成30年1月17日（水）
会場：津山市総合福祉会館（津山市）

平成29年度生活困窮者自立支援関係機関連絡会を左記の日程・会場により開催しました。この連絡会は、生活困窮者支援に携わる関係機関を対象とし、①機関・担当者間の顔の見える関係づくり、②課題の共有と抽出、③支援者の孤立防止を目的としています。

各回には生活困窮者自立支援事業を実施する機関（市町村担当課、市町村社会福祉協議会、社会福祉法人等）、NPO法人、地域包括支援センター職員、司法関係者等、生活困窮者支援に携わる関係機関が参加し、参加者から事前に寄せられたテーマに基づき生活困窮者支援を取り巻く現状や課題について意見交換を行いました。参加者からは「他機関と交流することできました」という声が聞かれました。



意見交換時の様子（備前会場にて）

生活困窮者支援に携わる関係者を対象にした連絡会を開催

多様な視点で“生活困窮者支援”について考えることができた「スキルアップやネットワークづくりの必要性を改めて感じた」といった声が聞かれました。

多様で複合的な課題を有する生活困窮者の支援においては、多機関がそれぞれの特性を活かしながら連携し、チームアプローチを図ることが不可欠です。そういった効果的な連携が進み、相談者一人ひとりに寄り添った支援が各地で展開されるよう、連絡会の継続的な開催を目指したいと思います。

生活支援コーディネータースキルアップ研修会を開催! ふれあい・たすけ愛サービス視察ツアーin笠岡

11月29日に、生活支援コーディネータースキルアップ研修会を開催しました。きっかけは、2か月に1度、県内の生活支援コーディネーターが中心となって開催している情報交換会。その中での現場をみんなで視察するツアーをしようとという声から企画しました。



NPO法人「ハーモニーネット未 来」さんの「ふれあい・たすけ愛サービス」の活動を視察に行きました。

この活動は、公的制度サービスでは対象にならない様々な「手当すけ」を、「困ったときはおたがいさま」の気持ちで行うというもので、高齢者だけでなく、外出が困難な人・妊娠婦など、誰でも利用できます。サービス内容も、その人の意向に合わせて対応されるため、病院への同行、買い物などの外出支援や、家事支援から話しあ手まで様々。この日は、施設に入所されている方の元へお伺いし、カラオケへ同行されていました。その人らしい生活を支えるための柔軟で丁寧な活動に、参加者からは、「生活支援を行う際にはまず利用者のニーズ、人生を豊かにすることを考える」という言葉にはハツ」としました。「などの声もあり、改めて、生活支援コーディネーターの活動について、ふりかえり、その役割とは何かを考えるとても良い時間になりました。

【問い合わせ先】
地域福祉部 地域振興班
TEL 086-226-2835

福祉の労務管理は福祉の社労士にお任せください!



労務管理で

困っている

・就業規則の見直し

・助成金の活用

・人材育成

・セミナー講師

・人材定着

・業務の効率化

Ai あい社会保険労務士法人 ☎ 0863-81-5634

特定社会保険労務士 佐藤起世子
〒706-0024 玉野市御崎2-3-13

あい社会保険労務士法人

<http://aisr.or.jp/> メルマガ募集中!
メルマガはHPからお申し込みください。

社会福祉法人の会計を完全フォロー!

初回相談料
無料!

社福経営サポートクラブ

株式会社 創明コンサルティング・ブレイン
SCB 公認会計士・税理士 宮崎会計事務所

0120-747-824

(受付時間) 9:00~17:30(平日)

ホームページ <http://www.ssc-scb.com>
〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野713番地10



- ・内部統制の向上に対する支援
- ・事務処理体制の向上に対する支援
- ・指導監査ガイドラインチェックサービス



- ・記帳代行サービス
- ・試算表チェックサービス
- ・顧問契約サービス

愛称
募集

記念品
贈呈

岡山県地域公益活動推進センターの設立に向けて

愛称募集 します！

■募集期間 平成30年2月末まで

【審査及び決定】

「岡山県地域公益活動推進センター」運営委員会にて選考します。

【発表及び表彰】

入賞者の発表は直接本人に通知する他、平成30年3月開催の「岡山県地域公益活動推進センター」設立記念式典にて公表します。また、本機関紙、ホームページでも発表します。

【記念品贈呈】最優秀賞1名（1

万円相当商品券）、優秀賞若干名（5千円相当商品券）を贈呈します。

▼県内の社会福祉法人や社会福祉協議会が分野や立場を越えてつながり、「オール岡山」で、制度の狭間の問題に取り組んでいくための「岡山県地域公益活動推進センター」をこのたび設立（3月末）することになりました。

▼センターの取組と社会福祉法人による地域公益活動について、より多くの県民及び各種関係機関・団体の方々に関心を持っていただけ地域公益活動推進センターが、皆様にとってより身近で親しみやすい存在になれるよう、センターの“愛称”を募集いたします。

【応募先・問い合わせ先】

岡山県社協（岡山県地域公益活動推進研究会）愛称募集係
 ▶TEL：086-226-2835
 ▶FAX：086-225-6602
 ▶ホームページ
<http://fukushiookayama.or.jp/>

わたしたち 社会福祉法人 は、
分野や立場を越えてつながり、
オール岡山 で、制度の狭間の問題への
対応や地域貢献に取り組みます！



平成30年度 岡山県社協 広告募集

機関紙『岡山県社会福祉』

社会福祉関係者に本会の取組や最新の福祉動向を紹介する機関紙です。

- 発行回数：年6回（偶数月10日発行） 発行部数：1回あたり5,800部
- 配布先：民生委員・児童委員（約3,000名）
社会福祉法人・施設（約1,900ヶ所）等
- 広告掲載料：A4サイズ1/4 13,000円 A4サイズ1/8 7,000円

ホームページバナーや福祉求人情報誌等の広告も随時募集中です。

詳細は、ホームページをご覧ください。



【問い合わせ先】岡山県社会福祉協議会 総務企画部 TEL：086-226-2822



ソウェルクラブへようこそ！！

●福利厚生センター（ソウェルクラブ）は、社会福祉法に基づき「社会福祉事業従事者の福利厚生の増進を図る」ことを目的に厚生労働大臣から指定された唯一の法人です。個々の法人では成し得ない福利厚生事業を全国規模で共有化することにより、規模のメリットを最大限に活かし、会員のニーズに応じた多種多様なサービスを提供しています。

●岡山県社会福祉協議会では、同センターの岡山県事務局（業務委託団体）として、地域に密着した会員のニーズに対応しています。



サービス内容

給付事業、健康管理サービス、各種講習会・海外研修の実施、レジャー・宿泊施設の割引、各種保険・ローン、クラブ・サークル活動助成、会員交流事業（日帰り旅行や食事会等）

掛金

職員一人当たり毎年度1万円
職員一人当たり毎年度5千円

※原則常勤職員対象
※非常勤職員対象

問い合わせ先 岡山県社会福祉協議会 福祉経営支援部（福利厚生事業） Tel：086-226-2827

昨年12月11日、12日と2日間にわたって、災害ボランティアセンター運営者研修を岡山で開催しました。全国社会福祉協議会の企画で、毎年全国3か所で開催しているこの研修。この形式は今年で一区切り、最後の回ということでしたが、過去最高の約200名が参加し、文字通り熱気に包まれた場になりました。企画段階から委員の皆さんと「みんなの心に灯をつけるような場にしたい」として臨んだその場のレポートです。



～ハートに灯をつけて～

災害ボランティアセンター運営者研修in岡山 開催レポート！



予定調和ではいかない

「この研修は予定調和ではいかない」当日のスタッフ打合せで、飛び交ったこの言葉は、この2日間を表す象徴的なものです。

初日の冒頭、研修のねらいとして全社協の園崎さんより、「被災者を中心、地元主体、協働」という、災害ボランティアセンター（以下VC）運営の三原則の紹介がありました。その言葉を頭に置きながら、「何のため、誰のための災害VCか」という問い合わせを繰り返す。「マニユアルはいらない」など色々な常識を覆す言葉が飛び、講師陣もその場のライブ感を大事に、本番直前まで資料を作り込み、時に解体し、リレーしていく展開は、まさに災害VCのような、目まぐるしい現場感あふれる研修でした。

「災害VCに集まるボランティアは、お客様ではなく同じ目的を持った仲間」それと同じように、講師・スタッフ・参加者、それぞれがお互いの想いに感化され、「よりよい場にしよう」とそれぞ

れが自主的に自分の持ち場で動いて、つながっていく感覚が体験できました。2日間を通して作り上げた、そのムードは「マニュアルのいらない」VCのあり方につながるものだったと思います。「一つとして同じ災害、現場はない」ゆえに、支援の再現はできないけれど、あの雰囲気は、きっとこれから私たちが取り組む、いろいろな場作りに普遍性のあるものだと考えます。

不安を抱えて受講してくれた、被災地で支援経験のない県内の市町村社協職員から、最初の不安が、研修を終えるころにはなくなつて、むしろすつきりしていた、心地よかつたという意味の言葉を何人もから聞きました。それは、「経験がないこと」は問題でなく、「ふだんの感覚、取組」が大事というメッセージと、同じ悩み、想いを持つ仲間にはげまされ、安心して過ごせる場に変わつていったからではなかつたでしょうか。

そんな場を、同じ岡山から40名を超える市町村社協、日赤、NPOの皆さんと共有できたことは、岡山の今後に必ずつながっていくと思います。皆のハートに灯をつける場になりました。

「認知症の理解を広める」 ～施設の専門性を活かして～

社会福祉法人 新生寿会
きのこ老人保健施設

社会環境の変化に伴い、福祉ニーズも多様化・複雑化する中で、既存の制度や住民の支え合いだけでは十分対応できない課題が顕在化しています。このように中、改正社会福祉法において、「地域における公的的な取組」の実施が明文化され、高い公益性を有する社会福祉法人は法人の本旨に従い、他の事業主体では対応が困難な福祉ニーズに対応するなど地域社会に積極的に貢献していくことが求められています。

今号では、社会福祉法人新生寿会 きのこ老人保健施設（以下、きのこ老健）が実施する施設の専門性を活かした、認知症カフェ（ひだまりカフェ）の取組について、同施設 施設長代理の宮本さんにお話を伺いました。

きのこ老健は、全国的に珍しい認知症専門の病院を母体とした老人保健施設であり、以前から、「認知症ケアの専門性を活かし、これまで積み上げてきた認知症の方々との関わり方を、高齢化が進む地元の大井地区に還元できるのではないか」と考えていました。会場となる笠岡市大井地区は、元々サロンが活発な地域であります。地域の拠点である公民館で、認知症に特化したものを一緒にできること、理解いただき、協働で認知症カフェを実施できることになりました。今では、地区社協、地域包括支援センター、公民館、民生委員児童委員の方々の協力も得て、毎月2回（第1火曜日、第3金曜日）開催しています。

地域貢献をしたいという
想いを形に

ひだまりカフェとは

ひだまりカフェも今年で3年目になります。いつも多くの方に来ていただいていますが、来る人はだいたい決まっており、来られないとどう働きかけていくかも課題です。以前、地区の徘徊訓練で認知症の方の役になり、地域を歩いてみたことがあります。やはりカフェに来ている人と来ていな人とは対応が全然違います。また、マスクなどメディアは重度の認知症の方ばかり取り上げますが、実際には軽度の方もたくさんいます。認知症になってしまつたからと言って、内へ向くのではなく、外へ出向くことで、進行がゆるやかにもなります。これは周囲の方々の支えがあってこそできることなので、温かく見守つてあ



▲今回お話を伺った宮本さん

▼みんなでクリスマスケーキを作成中！



認知症の正しい理解を広める



▲懐かしの歌をギターで弾き語り

歩として、認知症への理解が必要であり、ひだまりカフェもその役割を担っています。カフェを続けることで、認知症の正しい理解が広がつていけばと思っています。また、現在、笠岡市では認知症カフェは4箇所しかありません。もっと身近な地域に増やしていくことで、参加もしやすく、理解も広がります。これには、専門性をもつた施設が率先して取り組んでいくことが必要だと思います。地域貢献をすることで、職員の意識も変わり、施設自体の風通しや雰囲気も良くなります。地域と連携し、地域に必要な取組を進めることで、施設が地域に必要とされるようになると考えています。

取材日は、ギターの弾き語りと認知症当事者の方との歌語らいが行われ、事前に用意されていた椅子では足りないくらい多くの方が訪れていました。

当日お話をうながした当事者は、人前に出て認知症であることを話すのは初めてだったそう

で、とても緊張されている様子でしたが、診断されるまでの経緯、

その後のことをしっかりと話されました。診断されてからもういろいろなところに出かけ、7年経つ

今でも記憶力の衰えは少ないと話されます。今後の夢については、昔、息子さんと登った富士山にも

う一度登ることだと、楽しそうに語つてくださいました。

最後には、認知症など病気にかかると孤独を感じてしまうので、挨拶だけでもいいから、見かけたら声をかけてほしいという話で締めくくられました。

次回のひだまりカフェは2月16日です。これまで参加したことのない方々もぜひ足を運んでみてください。

問い合わせ先

社会福祉法人新生寿会
きのこ老人保健施設

笠岡市東大戸2912-3
TEL 0865-63-0700

ひだまりカフェを訪れて…

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成29年度

全国200万人
加入!!

ボランティア活動保険

保険金額

ケガの補償	プラン	Aプラン	Bプラン
	死亡保険金	1,320万円	1,800万円
	後遺障害保険金	1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
手術保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
	外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害・入院・通院の各補償金額(保険金額)に同じ	
	葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円(限度額)	
賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

(※)天災タイプでは、天災(地震・噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間: 平日の 9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一緒に結ぶ団体契約です。

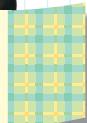
(SJNK16-16921 2017.2.3作成)

『ふくし』の 仕事人たち

本会の会員である施設・
団体等で働く「ふくし」の仕事に携わる
人たちの声を紹介していきます。



倉敷市児島西高齢者支援センター
三好 幸代さん



①現在の仕事をはじめたきっかけ は?

学校で看護師・保健師の資格を取
得後に病院等で勤務をしましたが、
保健師の実習で地域に出向いた際に、
病院勤務では出合ったことがなかった
方々の地域での暮らしに触れ、在宅
での生活を支える仕事にも関心を持
つようになりました。

その後在宅介護支援センター、居
宅介護支援事業所での勤務を経て、
平成19年より地域包括支援センター
(以下、包括)で勤務しています。

②主にどんな仕事をしていますか?

地域の高齢者の生活に生じた様々
な困り事について専門職や地域の方
々と協力して、解決方法を探ります。
相談はご本人やご家族だけでなく、
地域の人とつながり、活動できる
ことが魅力の一つだと思います。先
日も小学校で認知症サポート養成
講座を開催したのですが、地域の
方々が積極的に企画運営や学校との

③包括の仕事の魅力はどんなところ ですか?また、仕事の中で心掛けて いることは?

地域の高齢者の生活に生じた様々
な困り事について専門職や地域の方
々と協力して、解決方法を探ります。
相談はご本人やご家族だけでなく、
地域の人とつながり、活動できる
ことが魅力の一つだと思います。先
日も小学校で認知症サポート養成
講座を開催したのですが、地域の
方々が積極的に企画運営や学校との

地域の民生委員さん等から寄せられ
ることも少なくありません。
また、介護予防教室や家族介護教
室の担当もしており、現在は主に自
治会単位で年に40回程開催していま
す。教室 자체を大切な居場所と感じ
てくださっている方もおられますし、
逆に教室に来られない方の存在やそ
の方々へのアプローチを考える機会
にも繋がっています。

④今後、どんな「仕事人」になりた いですか?

包括で全て対応しようと、抱え込
んでしまっていた時期もありました
が、在宅での生活支援は包括だけで
は実現できません。そのことに気付
いてからは、本当の意味で内外のつ
ながりを大切に考えるようになります。
これからは、今あるつながりを深
め、パイプを太くしながら、地域の
人・専門機関とともに「いつでも動
き出せる体制」を作つていきたいと
思います。

調整に協力してくださいました。そ
の地域のことを想い、一緒に活動し
ているとき、特に面白さを感じます。
心掛けていることは指導や助言を
するのではなく、「こちらから地域
に向かって、地域の人からことん教
わる」というスタンスです。また、
支援体制を築くには何年もかかるこ
ともありますが、ご本人が支援の必
要性を感じ、動き出す必要性が生じ
るまで、時間がかかったとしても関
わることを諦めず、周囲の協力体制
を築いておくことも重要だと感じて
います。

吉備の里希望では、「はたらく」事への
意欲や能力の向上を目指し、一人ひとりのニーズに応じた就労を提供し
ています。

社会福祉法人 吉備の里 吉備の里希望

吉備の里希望では、「はたらく」事への
意欲や能力の向上を目指し、一人ひとりのニーズに応じた就労を提供し
ています。

自社製品のひとつに、岡山県産の
ヒノキ材を使用した木製品を扱ってい
ます。木製品をレーザー加工するにあたって、利用者さんがパソコンスキルを活かし、版づくりに取り組んでいます。また、加工した木製品を手作業で丁寧にやすりがけをし、手間をかけて作
製しています。特にストラップはデザイン豊富で価格もお手頃で、人気商品です。また、お客様のご要望に応じて、オリジナルグッズの注文も承っています。お気軽にお問い合わせください。



●商品名 木製(ひのき)
ストラップ・コースター
●価 格 200円~600円(税込)

問い合わせ先

吉備の里希望 印刷室 TEL:0866-56-9898 / FAX:0866-56-9292 / E-mail:kokoro@kibinosato.or.jp